



# 骨に効く ミカンジュース

## 味しぼり「機能性表示」認定

ミカンの生産、加工販売を行う「早和果樹園」(有田市)の果汁100%のミカンジュース「味しぼり」(720ミリ・リットル)が、骨の健康維持に役立つとして、効能を商品に表示できる「機能性表示食品」に県内で初めて認定された。秋竹新吾社長(72)は「ミカンの皮を使った商品の認定も目指し、『有田みかん』の付加価値を高めたい」と意欲をみせている。

(大森篤志)

「機能性表示食品」は、科学的根拠に基づいて、健康の維持・増進などの効果を商品パッケージに表示できる制度。消費者庁が2015年4月に導入した。

同じく効果を表示できる「特定保健用食品」(トクホ)は安全性などについて国が審査するが、機能性表示食品は、自社や他の機関が行った研究結果をもとに、企業が自己の責任で効能などを評価することが必

機能性表示食品に認定された味しぼりをアピールする秋竹社長(左)ら(県庁で)

## 早和果樹園販売「有田」の付加価値高めたい

要となる。秋竹社長によると、県が出資する「わかやま産業振興財団」が、果樹の付加価値を高めようと昨年、開いた講演会を聴講し、機能性表示食品について詳しく学んだことが認定を目指すきっかけ。

同社は、国の機関「農研機構」が行った研究を踏まえ、温州ミカンに含まれるオレンジ色の成分「β-クリプトキサンチン」が骨代謝の働きを助け、骨粗しょう症の発症リスクを低減させることに着目した。

1日あたり、この成分を3ミリ・リットル以上摂取すると有効とされていることから、同社は「日本食品分析センター」に依頼してジュースの成分を調査。ジュース180ミリ・リットルあたり3ミリ・リットルの成分が含まれていることを突き止めた。

昨年12月28日付で認定。今月上旬、県庁で記者会見した秋竹社長は「認定を足がかりに、濃厚な味が魅力の有田みかんを多くの人に知ってほしい」と意気込みを語った。

1本1300円(税込み)で、県内の小売店で購入できる。問い合わせは同社(0120・043・052)。